



令和6年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和6年2月14日

上場会社名 アプライド株式会社
 コード番号 3020 URL <http://www.applied-g.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 岡 義治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 山口 圭介
 四半期報告書提出予定日 令和6年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 092-481-7801

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年3月期第3四半期の連結業績(令和5年4月1日～令和5年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年3月期第3四半期	30,546	14.5	1,357	34.2	1,371	34.1	927	37.7
5年3月期第3四半期	26,686	12.9	1,012	37.8	1,022	37.6	673	38.1

(注) 包括利益 6年3月期第3四半期 935百万円 (37.6%) 5年3月期第3四半期 679百万円 (37.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年3月期第3四半期	343.02	
5年3月期第3四半期	249.03	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
6年3月期第3四半期	17,219	10,128	58.3
5年3月期	16,929	9,408	55.1

(参考) 自己資本 6年3月期第3四半期 10,033百万円 5年3月期 9,321百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年3月期		20.00		60.00	80.00
6年3月期		20.00			
6年3月期(予想)				60.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和6年3月期の連結業績予想(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	3.6	1,800	3.6	1,800	2.7	1,100	0.1	406.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	6年3月期3Q	2,703,200 株	5年3月期	2,703,200 株
期末自己株式数	6年3月期3Q	122 株	5年3月期	122 株
期中平均株式数(四半期累計)	6年3月期3Q	2,703,078 株	5年3月期3Q	2,703,078 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境や円安を背景としたインバウンドの持ち直しもあり緩やかに回復しましたが、先行きについては、資源価格の高騰を背景とした物価高、金融資本市場の変動や海外景気の下振れによる景気の下押しリスク等、依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、店舗、法人部門、通販・卸部門の多販路販売を状況に応じて変化させることでリスク分散を図るとともに、新規営業所の開設、生産・技術部門の増強など、計画的な設備投資を進めることで、顧客増大と利益創出を推進いたしました。

パソコン専門店「アプライド」26店舗では、在宅ワークやオンライン授業等のデジタルシフトをサポートする個人向けサービスの展開と、法人向けソリューションセミナーを通してデジタル技術の必要性和データ管理の重要性を喚起し、環境変化への性急な課題解決に対応いたしました。

大学、官公庁向けの販売を主体とするS I営業では、仙台営業所（令和5年5月）、北大阪営業所（令和5年9月）を開設し、商圏の拡大を図りました。また、各研究分野に特化したH P C（ハイパフォーマンスコンピューティング）の製造技術を活かし、研究開発向けのソリューション営業を推進いたしました。

B to B販売を中心とした特機営業では、法人様向けI Tセミナーの開催やオンライン営業システムを活用し、各種I T機器の販売から、A I・R P A等のソリューションとハードウェアのパッケージ販売を推し進め、売上と顧客増大を図りました。

化粧品・雑貨専門店「ハウズ」では、ロードサイド立地の強みを生かし、独自開発商品の展開と季節に合わせたイベント展開を軸に、顧客増大に努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は305億46百万円（前年同期比14.5%増）、営業利益は13億57百万円（前年同期比34.2%増）、経常利益は13億71百万円（前年同期比34.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億27百万円（前年同期比37.7%増）となりました。

セグメントごとの売上高は次のとおりです。

- ① パソコン・ゲーム事業は、「A Iの日常化に挑戦する会社」直販型メーカーを目指し、オンラインセミナー・ビジネスフェア・O P E N大感謝祭等を開催し、地域一番店戦略による製品・商品・サービスの差別化を推進することで、売上高は222億25百万円（前年同期比5.4%増）となりました。
- ② 化粧品・雑貨事業は、「ささやかな、幸せ感の創出」小さな感動が溢れる雑貨店を目指し、アプライドグループ自社農園「ひーな農園」収穫祭・お料理教室・ワークショップ等の独自イベントを開催し、オリジナル商品の展開による差別化を進め、加えて、卸売販売が堅調に推移したことから、売上高は80億81百万円（前年同期比49.0%増）となりました。
- ③ 出版・広告事業は、「県内ダントツの情報発信基地」を目指し、タウン情報誌・記念誌・ファンブック等の出版事業に加え、S N S運用代行サービス・動画拡散代行サービス等のデジタル販促支援事業を推進することで、売上高は2億48百万円（前年同期比5.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2億90百万円増加し、172億19百万円となりました。これは主に、現金及び預金が10億34百万円減少し、受取手形及び売掛金が5億88百万円増加し、棚卸資産が7億21百万円増加したためです。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ4億29百万円減少し、70億91百万円となりました。これは主に、借入金の約定返済により、1年内返済予定の長期借入金が1億9百万円減少し、長期借入金が2億13百万円減少したためです。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ7億19百万円増加し、101億28百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益9億27百万円等により利益剰余金が7億10百万円増加したためです。

この結果、自己資本比率は、58.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和5年5月12日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和5年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,255	2,221
受取手形及び売掛金	6,348	6,936
棚卸資産	1,349	2,071
その他	90	198
貸倒引当金	△78	△95
流動資産合計	10,965	11,332
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,102	2,085
土地	2,361	2,488
建設仮勘定	2	-
その他（純額）	178	171
有形固定資産合計	4,645	4,746
無形固定資産	19	17
投資その他の資産		
敷金及び保証金	582	575
その他	716	547
投資その他の資産合計	1,299	1,123
固定資産合計	5,963	5,886
資産合計	16,929	17,219

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和5年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,219	3,152
1年内返済予定の長期借入金	411	302
未払法人税等	84	142
契約負債	1,753	1,875
賞与引当金	182	97
その他	787	658
流動負債合計	6,438	6,228
固定負債		
長期借入金	652	439
長期未払金	422	416
その他	7	7
固定負債合計	1,082	862
負債合計	7,520	7,091
純資産の部		
株主資本		
資本金	381	381
資本剰余金	909	909
利益剰余金	8,031	8,742
自己株式	△0	△0
株主資本合計	9,322	10,033
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	0
その他の包括利益累計額合計	△0	0
非支配株主持分	87	94
純資産合計	9,408	10,128
負債純資産合計	16,929	17,219

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)
売上高	26,686	30,546
売上原価	20,527	23,675
売上総利益	6,158	6,871
販売費及び一般管理費	5,146	5,513
営業利益	1,012	1,357
営業外収益		
受取利息	0	0
受取手数料	4	3
受取賃貸料	12	11
協賛金収入	1	2
その他	2	4
営業外収益合計	22	22
営業外費用		
支払利息	5	3
為替差損	5	3
固定資産除却損	0	1
その他	0	0
営業外費用合計	11	9
経常利益	1,022	1,371
税金等調整前四半期純利益	1,022	1,371
法人税、住民税及び事業税	98	268
法人税等調整額	243	168
法人税等合計	341	436
四半期純利益	681	934
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	673	927

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)
四半期純利益	681	934
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	0
その他の包括利益合計	△1	0
四半期包括利益	679	935
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	671	927
非支配株主に係る四半期包括利益	8	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。